

水中ロボットコンベンション in JAMSTEC 2025

開催報告（速報）

特定非営利活動法人日本水中ロボネット

水中ロボットコンベンション in JAMSTEC 2025 実行委員会

表記の水中ロボットコンベンション in JAMSTEC 2025 は、過去最大の 41 チーム、延べ 374 名の参加者を得て、成功裏に開催されたことを報告いたします。

参加者は、フリー部門、AI チャレンジ部門、ビデオ部門、ジュニア部門に分かれて競技を行いました。フリー部門は技術内容やオリジナリティを競う部門です。プレゼン点・競技点の合計で順位が決まります。プレゼン点はポスター形式のワークショップでの発表を評価します。AI チャレンジ部門では、自動操縦で風船割りをを行います。プレゼン点と競技点の合計点で競います。ビデオ部門は遠方に居住するなど現地参加が困難なチームや後述しますフリー部門、AI チャレンジ部門、ジュニア部門で選考等により現地参加できなかったチームのための部門です。ロボットの技術内容やオリジナリティ、演技等をまとめたビデオにより競います。ジュニア部門は中学生・高校生・高専生を対象とした部門で、水中ロボットキットを組み立てて缶拾い競争を行います。

今回は、フリー部門と AI チャレンジ部門には、24 チーム（フリー部門 17 チーム、AI チャレンジ部門 7 チーム）の参加応募がありました。残念ながら場所と時間の制限から書類選考により半分の 12 チーム（フリー 8 チーム、AI 4 チーム）に参加を制限せざるを得ませんでした。



集合写真

参加者数内訳を表1に掲載します。

今回のイベントでは、BS日テレ放送の科学ドキュメンタリー「ガリレオX」と神奈川新聞社から取材がありました。ガリレオXは約30分の番組で2025年10月2日（木）に放送予定とのことです。会場の様子はYouTubeでオンラインで配信しました。また、新たな試みとして、はまぎんこども宇宙科学館と連携し、先方のディスプレイに映像を表示するなど行いました。30名以上が視聴しました。

このように今年も成功裏に開催することができたのは会場を提供して頂くなど様々なご協力頂いた海洋研究開発機構

(JAMSTEC)、ご支援を頂いた横須賀市、参加者に対する交通費支援や入賞者に対する副賞等に対する資金面での援助をいただいた沖電気工業（株）をはじめとする多くの共催・協賛・後援・協力団体のご支援と協力者や参加者皆様のご協力のおかげと存じます。心から感謝申し上げますとともに、引き続き今後もお支援頂けるよう、お願い申し上げます。

なお、上記の競技会の他、水中ロボットセミナーを2025年7月21日（月）（海の日）にオンラインで開催しました。

表1 参加者数内訳

区分	23日（土）	24日（日）
フリー部門	31	31
AIチャレンジ部門	11	11
ビデオ部門	14	18
ジュニア部門	71	73
協賛団体	9	20
スタッフ	27	27
取材	3	4
見学	9	15
合計	175	199

記

1. 開催日

2025年8月23日（土）～24日（日）

2. 開催場所

国立研究開発法人海洋研究開発機構 横須賀本部

3. 実施体制

- (1) 主催： 特定非営利活動法人日本水中ロボネット
- (2) 共催： 日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会、テクノオーシャン・ネットワーク（TON）、IEEE/OES 日本支部、MTS 日本支部

- (3) 協賛： 国立研究開発法人海洋研究開発機構、沖電気工業株式会社、株式会社 OKI コムエコーズ、いであ株式会社、ARAV 株式会社、ミネベアミツミ株式会社、株式会社 SeaChallenge、Nortek ジャパン合同会社、株式会社ハマ、アナログ・デバイセズ株式会社、松山工業株式会社、イワキテック株式会社、ミサゴ株式会社、株式会社 FullDepth、広和株式会社、株式会社ロボティズ日本支店
- (4) 後援： 内閣府総合海洋政策推進事務局、神奈川県、横須賀市、東京大学生産技術研究所海中観測実装工学研究センター
- (5) 協力： アクアモデラーズ・ミーティング
- (6) 実行委員会：
- 委員長 清水悦郎（東京海洋大学）
- 委員 浅川賢一（日本水中ロボネット）、有馬正和（大阪公立大学）、枝本雅史（成蹊大学）、大塚秀雄（元山形大学オープンイノベーションセンター招聘講師）、小澤正宜（神戸高等専門学校）、折金悠生（東京科学大学）、木戸ゆかり（海洋研究開発機構）、小山実（岡山商科大学附属高等学校）、近藤逸人（東京海洋大学）、杉浦富夫（杉浦機械設計事務所）、西村一（日本水中ロボネット）、古橋秀夫（愛知工業大学）、巻俊宏（東京大学生産技術研究所）、眞砂英樹（長岡技術科学大学）、松田匠未（明治大学）、茂木優一（東京大学生産技術研究所）、山縣広和（東京大学生産技術研究所）、吉田弘（海洋研究開発機構）

4. 競技結果

フリー部門優勝	A-QuadKen （東京科学大学）
フリー部門準優勝	Urashima （愛知工業大学）
フリー部門 3 位	小山高専水中ロボット製作チーム 2025 （小山工業高等専門学校）
AI チャレンジ部門優勝	Team HydroStrider （東京大学）
AI チャレンジ部門準優勝	沈モビリティ （個人）
ジュニア部門優勝	team だるまん （鎌倉学園中学校・高等学校）
ジュニア部門準優勝	チームミフネコ （熊本県立御船高等学校）
ジュニア部門 3 位	Team_Kakuyo （長崎県立長崎鶴洋高等学校）
ビデオ部門優勝	テトラ （愛知工業大学）
ビデオ部門準優勝	AIT 水中ロボットチャレンジ （愛知工業大学）
ビデオ部門 3 位	AquaUMIUSI （東京科学大学）
JAMSTEC 賞	Landfill Nation （東京科学大学附属科学技術高等学校）
沖電気工業株式会社・株式会社 OKI コムエコーズ特別賞	Landfill Nation （東京科学大学附属科学技術高等学校）